

平成 22 年度第 1 回新潟大学東京事務所「Evening Seminar & Communication Salon」
平成 22 年 7 月 16 日（金） 18：30～20：40 CIC 東京国際会議室（定員 80 名）

「佐渡におけるトキの野生復帰の現状－地域へ与える波及 効果の可能性－」

講師：永田 尚志氏（新潟大学超域研究機構准教授）

新潟大学超域研究機構の朱鷺プロジェクトとして目指すところはグリーンイノベーションで、持続可能な社会、生活を維持していくためには、生物多様性の保全を核とした、劣化した生態系の構造と機能を復元、回復する自然再生が必要です。トキの野生復帰を自然再生学の中核として、それをケーススタディとした自然再生プロトコルである“佐渡モデル”を世界に発信し、国際的研究拠点を創成します。

2008 年秋、および、2009 年秋、30 羽のトキが佐渡で放鳥されました。2010 年の春、佐渡において 6 つがいのトキが営巣を試みたことは、佐渡発のニュースとして全国に報道されたのは記憶に新しいところです。今回は、2010 年の繁殖顛末を含めて佐渡におけるトキの野生復帰の現状を報告します。また、トキの野生復帰が地域へ与える波及効果の可能性について紹介します。

なお、当日上記セミナーの開始前 18:00 から 30 分間、同じ CIC 東京国際会議室に於いて

「“ソフトな財＝経験”による若手人材育成-新しい形の博士人材育成の取組-」に関する

新潟大学の説明会を開催。

新潟大学は博士人材を対象とした実業現場のインターンシップに着手しました。“真の開発業務”を体験し、コスト意識、コミュニケーション能力、国際競争感覚を始めとする現場に必要な能力を身に付けた、グローバルな活動が可能な地域中核リーダー育成の取り組みを紹介します。

企業の研究開発関連でインターンシップにご興味のある方は是非ご出席ください。またこの関連部門へもこの案内をご紹介下さい。

新年度のインターンシップ研究員のプロフィールが下記のホームページに掲載されています。

<http://www.ccr.niigata-u.ac.jp/internship/data/22profile.pdf>

本制度は大学が若手研究人材育成制度として推進する事業であり、受け入れ企業とマッチングすれば 3 カ月間研究生を受け入れて指導して頂きます。その費用は大学で負担いたします。大学と企業および学生の価値向上を目指します。

平成 22 年 7 月 16 日（金）

CIC 東京国際会議室

1. 18:00～18:30 「“ソフトな財＝経験”による若手人材育成-新しい形の博士人材育成の取組-」
2. 18:30～19:30 「佐渡におけるトキの野生復帰の現状－地域へ与える波及 効果の可能性－」
3. 19:40～20:40 「交流会」はビールを飲みながら講師を囲んで、交流・提案などを行って頂きます。
交流会参加費は 2,000 円で当日お支払い下さい。

1. 「説明会」および 2. 「セミナー」はどなたでもご出席可能です。但し事前登録制で先着順に承ります。
3. 「交流会」は新潟大学東京イノベーションクラブ会員に限定です。但し、入会は随時行っています。